

ハッ場ダム住民訴訟通信-56

2010.01.10 発行

あけまして おめでとうございます。

ハッ場ダム完全中止へ。一都五県の市民が力を結集します。

「ハッ場ダム、霞ヶ浦導水、南摩ダム、湯西川ダムの中止求める」署名運動。

昨年、この国を土建行政でボロボロにした旧政権が倒れ「コンクリートから人へ」を掲げた新政権が誕生しました。そして直ちに「ハッ場ダム中止」を宣言。誰もが晴れやかに新年を迎えられると思っていました。しかし、何だかスッキリしません。それは中止を宣言した前原大臣が、地元の住民感情を気遣い中止の理由とその道筋を示さなかったからです。この状況を好機と見た1都5県の知事をはじめとするダム推進派は、滅茶苦茶な中止反対論を展開、一部のマスコミがそれを無批判に垂れ流したからに他なりません。↑前号を参照ください。

一都五県の“市民力”を発揮しましょう。署名運動を成功させましょう。

私たちは呼びかけます。首都圏にはハッ場ダムをはじめ、霞ヶ浦導水、南摩ダム(思川開発)、湯西川ダムと、無駄なダム事業が四つも進められています。それぞれの現地には先祖の代より暮らす人々がいます。流域には豊かな清流を糧として漁業を営む多くの人達がいます。この方々の声も届けます。首都圏・利根川流域というひとつの共生圏に生きる人として。

国民負担 1兆 8000 億円(起債利息込み)。茨城県民が一番大きな負担を強いられています。

■4ダムの都県と国の負担額(単位:億円 1人当りは:円)

	ハッ場ダム	霞ヶ浦導水	湯西川ダム	南摩ダム	合計	1人当り負担額
東京	850	66		105	1,021	8,062
千葉	505	114	535	174	1,328	21,848
埼玉	804	33		177	1,014	14,339
茨城	262	595	276	139	1,272	42,806
栃木	10		189	297	496	24,634
群馬	234				234	11,578
計	2,665	808	1,000	892	5,365	16,348
国負担	3,181	1,092	1,147	1,209	6,629	
合計	5,864	1,900	2,147	2,101	11,994	

※上の表は起債利息を含んでいません。実質負担は建設債券の利息を含めたものになります。

■署名締切り 第1期:3月31日

■問合せ:ハッ場ダムをストップさせる茨城の会 神原禮二 090-4527-7768

■送付先:〒302-0001 取手市小文間 5160-52 近藤欣子(ハッ場ダムをストップさせる茨城の会 代表)

■申入れ団体:NPO アサザ基金 新しいつくばを創る市民の会 茨城県の水問題を考える市民連絡会 NPO エコタウン鉢田 江戸メダカの会 霞ヶ浦導水事業を考える県民会議 NPO 霞ヶ浦アカデミー 霞ヶ浦漁業研究会 水道事業を考える土浦市民の会 つくばほっとネット 利根川の水と自然を守る取手連絡会 農民運動茨城県連合会 ハッ場ダムをストップさせる市民連絡会(1都5県の会) ハッ場あしたの会 (1月12日現在)

※署名は同封の用紙と封筒でお送りください。足りない場合はコピーを、切手代はカンパをお願いします。

ハッ場ダムをストップさせる茨城の会 代表:近藤欣子 濱田篤信 柏村忠志

事務局:神原禮二 〒302-0023 取手市白山 1-8-5 携帯 090-4527-7768